



彩の国東大宮大

Q

&

A

彩の国東大宮メディカルセンター
Sai no Kuni Higashi Miyagi Medical Center

研修医の 出身地・ 出身大学

Q

研修医の出身地は、埼玉県が多い？

A

出身地や、出身大学については、
毎年集まる研修医によって異なります。

Q

研修医や上級医の出身大学はどこが多い？

A

当院は所属している医局がなく、特定の大学に
集中していません。
研修医も上級医も出身大学は、様々です。

研修医の出身大学は、ホームページに掲載しているので、
参考にしてみてください！

当直について

Q

回数は何回？

A

4回/月まで（土日祝日の当直、日直枠もあり）

Q

当直明けの勤務は？

A

明けは1日勤務になります。

Q

当直体制は？

A

内科・外科に分かれており、当直指導医に対して、それぞれ研修医2年目と1年目がペアで当直につきます。

Q

手当と時間は？

A

1年次：15,000円/回　2年次：25,000円/回
平日：19時～翌9時まで
土日祝：17時30分～翌9時まで

当直について

研修医からの コメント

- 肺炎をはじめとしたありふれた疾患から、稀な疾患を経験できる。
- 研修医がファーストタッチから一連の検査オーダーを行い、上級医がしっかりサポート・指導してくれる。
- 様々な科の専門の先生と当直をすることで、たくさんのお見解を学べる。
- 3年目に自信を持って独り立ちできるよう学ぶことができる。

学会への参加・ 発表について

Q 学会・研修会等への補助はあるか？

A 学会参加費・交通費・宿泊費として、年8万円の補助があります。
学会休暇については、有給休暇とは別に年3日まで勤務扱いで学会等に参加できます。

Q 研修医はどんな学会に参加しているか？

A ICLSコース、ACLSコースの受講などはもちろん、各種勉強会、各学会での学術総会などに参加しています。

Q 研修医が発表する機会はあるか？

A 年1回、院内と院外での発表を必須としています。

院内 研修医症例発表会では、院内の先生方の前で発表します。

院外 埼玉県医学会総会、内科地方会、消化器病学会などで症例発表を行います。

勉強会 について

Q

どんな勉強会があるか？

A

モーニングレクチャー（毎月1回）

各診療科より、《これだけは覚えてほしいこと》
《当直中に見逃してはいけない症状》などを
中心にミニレクチャーを開催しています。

研修医症例発表会

各診療科の先生方の前で、研修医1年目、2年目
それぞれ1回ずつ症例発表を行います。
スライドの作成ポイント、発表態度など、学会発表
に向けてアドバイスをもらえます。

CPC症例検討会

研修医が解剖を担当した症例について発表を行います。
症例検討会には、症例の指導医・病理医・担当病棟の
看護師など多職種が集まります。

文献・図書・ シミュレーターなど 学習環境

Q 図書室やシミュレーターはあるか？

A 図書室、各シミュレーターがあります。

入職時のオリエンテーションではシミュレーターを使い、BLSの基本、挿管、導尿、縫合、採血、ルート確保など現場配置前に手技研修を行います。

Q 文献検索のシステムはあるか？

A 病院でメディカルオンラインを契約しています。気になる文献を取り寄せることもでき、病院が費用を一部負担しています。また、研修医たちの共有書籍として、研修医室に置く書籍も希望により随時購入しています。

社宅について

徒歩や自転車で
通勤している人が
多いです！

Q どこに住んでいる研修医が多いか？

A ほとんどが土呂駅近辺または大宮公園駅近辺に住んでいます。

災害時及びオンコールの対応ができるよう、病院から30分以内または2Km圏内の物件が社宅対象となります。

Q 家賃補助及び引越費用の補助はあるか？

A 当院規定により家賃および入職時引越費用の補助が有ります。
家賃及び共益費の50%補助(上限5万円)。
入職時引越費用は20万円を上限に病院負担しています。

採用試験 について

Q

開催時期はいつ頃か？

A

毎年8月～9月に、3日間を予定しています。
採用試験の詳細については、毎年6月頃掲載しています。

面接官は、院長、センター長、事務長、看護部長、
指導医、メディカルスタッフ、チーフレジデントの
7名です（前年度）。

Q

選考方法は？

A

個人面接（7分程度）と筆記試験（50分）

* 人物重視で採用しています

修了後の進路 について

どこへ進む人が
多いか

- 内科、整形外科、形成外科、麻酔科、泌尿器科、救急科、脳神経外科、小児科、精神科など幅広く、埼玉県内、都内の基幹病院を中心に進む研修医が多いです。
- 当院には、精神科、産婦人科、小児科はありませんが、必ず連携施設で研修することがきますので、3年目の進路として選ぶ研修医もいます。
- 初期研修修了後に、大学病院、または市中病院のどちらの基幹施設を選ぶかは、個々の考え方、3年日以降のサブスペシャルティなども踏まえて、進んでいます。
- 内科であれば、当院でも専門研修施設となっているため、3年日以降も残ることができます。